

1.沿革

昭和45年10月	保健所検査室を統合し、1所(課)3係(職員数13名)で衛生試験所発足(中央保健所に併設)。
昭和48年4月	部長制が敷かれ、1所(部)1次長(課)3係(職員数29名)となる。
昭和48年8月	本館4・5階を増築。
昭和50年4月	1所(部)2課3係(職員数36名)となる。
昭和58年4月	1所(部)2課4係(職員数36名)となる。
昭和61年4月	1所(部)2課4係1主査(職員数36名)となる。
平成元年4月	1所(部)2課4係2主査(職員数36名)となる。
平成2年3月	旧第一病院の仮庁舎に移転。
平成4年4月	1所(部)2課4係4主査(職員数39名)となる。
平成5年4月	1所(部)2課4係4主査(職員数41名)となる。
平成7年4月	1所(部)2課4係5主査(職員数42名)となる。
平成8年4月	1所(部)2課5係6主査(職員数43名)となる。
平成9年3月	新庁舎に移転(中央区地行浜二丁目1番34号)となる。
平成9年4月	1所(部)3課5係6主査(職員数43名)となる。
平成9年5月	衛生試験所から保健環境研究所に名称変更。「まもる一む福岡」オープン。
平成11年4月	1所(部)3課5係5主査(職員数42名)となる。
平成12年4月	保健福祉局から環境局へ移管、1所(部)3課1係9主任研究員(職員数43名)となる。(技術職の係長、主査制は廃止され、主任研究員制となる。)
平成12年10月	廃棄物試験研究センターが保健環境研究所の所属となる。 1所(部)3課1所(課)1係12主任研究員(職員数52名)となる。
平成13年4月	スタッフ制導入(課長制は廃止され、主席研究員制となる。) 1所(部)3主席研究員1所(課)1係12主任研究員(職員数49名)となる。
平成15年4月	本庁環境啓発課の環境情報係と主査(有害汚染物質専任)が保健環境研究所の所属となり、企画調整課が設置される。1所(部)、1課、2主席研究員、1所(課)、2係、1主査、12主任研究員(職員数53名)となる。
平成19年4月	企画調整課が廃止され、企画調整係が総務係に名称変更し、環境情報係・主査(有害汚染物質専任)は環境対策推進部環境保全課へ移管。又、環境科学部門の博多湾担当を廃止し、環境生物担当は水質担当に名称変更となる。「まもる一む福岡」の業務は総務部環境啓発課に移管となる。1所(部)、2主席研究員、1所(課)、1係、11主任研究員(職員数46名)となる。
平成20年4月	主席研究員を廃止し、環境科学課と保健科学課を設置した。又、総務係を管理係とし、環境科学課に移管。1所(部)、2課、1所(課)、1係、11主任研究員(職員数46名)となる。

2.施設

1階	まもる一む福岡	敷地面積：5,799㎡ 延床面積：7,384.41㎡ (うち、「まもる一む福岡」550㎡) 高さ：28.4m 構造規模：鉄骨鉄筋コンクリート造地上5階 所在地：福岡市中央区地行浜2丁目1-34
2階	会議室・技術研修室	
3階	所長室・管理係・情報資料室	
	保健科学課 (微生物)	
	細菌担当 ウイルス担当 感染症担当	
4階	保健科学課 (理化学)	食品化学担当 微量分析担当
5階	環境科学課	
	環境化学担当 水質担当 大気担当	
		・廃棄物試験研究センター 所在地：福岡市東区箱崎ふ頭4丁目13-42 臨海工場内3階：面積：620㎡

3. 福岡市保健環境研究所の組織及び事務分掌・職員定数

(平成22年5月1日現在)

所 長 (46)	環境科学課長 (14)	管 理 係 (3)
		1. 予算・決算及び経理に関すること 2. 一般庶務に関すること 3. 所の所掌事務に係る所内の連絡調整に関すること 4. 保健環境研究委員会に関すること
		主任研究員 【環境化学担当】 (4)
		1. ダイオキシン等の有害物質に関する検査 2. 関連事項に関する調査研究
	保健科学課長 (21)	主任研究員 【水質担当】 (3)
		1. 水質理化学検査(飲料水, し尿浄化槽放流水, 浴場, プール) 2. 水質事故・苦情等に関すること 3. 関連事項に関する調査研究
		主任研究員 【大気担当】 (3)
		1. 大気汚染・悪臭に関する検査 2. アスベストの検査 3. 関連事項に関する調査研究
	廃棄物試験研究 センター所長 (10)	主任研究員 【細菌担当】 (4)
		1. 食品の細菌及び食中毒に関する検査 2. 生活衛生及び環境関係検査 3. 関連事項に関する調査研究
		主任研究員 【ウイルス担当】 (3)
		1. ウイルス全般及び感染症発生動向調査事業に関する検査 2. 関連事項に関する調査研究
		主任研究員 【感染症担当】 (2)
		1. 腸内細菌・結核菌の検査 2. 飲料水の細菌検査 3. 性病・衛生害虫の検査 4. 関連事項に関する調査研究
		主任研究員 【食品化学担当】 (7)
		1. 食品・添加物・家庭用品・医薬品の理化学検査 2. 食中毒・苦情・その他の理化学検査 3. 関連事項に関する調査研究
		主任研究員 【微量分析担当】 (4)
		1. 食品の残留農薬, 動物用医薬品, カビ毒等の検査 2. 食品及び血液中のPCB等汚染物質の検査 3. 関連事項に関する調査研究
		主任研究員 【資源化担当】 (3)
		1. 廃棄物の資源化に係る各種技術の調査及び導入に係る研究 2. 廃棄物試験研究センターの庶務・経理に関すること
		主任研究員 【工場担当】 (3)
		1. 清掃工場及び資源化センターの維持管理に関する試験検査 2. 廃棄物の中間処理に関する研究
		主任研究員 【埋立場担当】 (3)
		1. 埋立場の維持管理に関する試験検査 2. 廃棄物の埋立処分に関する調査研究

*他に嘱託職員(調査研究推進等:平成21年度新設, 検査補助, 洗浄業務)12名を配置

4. 職員配置表（平成22年5月1日現在）

課 種 別	技 術 職				事 務 職	嘱 託 職 員	計
	衛 生 管 理	獣 医 師	臨 床 検 査 師	化 学			
所 長	1						1
環 境 科 学 課	10	1		1	3	(6)	15 (6)
保健科学課（微生物）	6	3	2			(5)	11 (5)
保健科学課（理化学）	9			2		(2)	11 (2)
廃棄物試験研究センター	8			2			10
計	34	4	2	5	3	(13)	48 (13)

※ 保健科学課長は微生物に含む。

※ 育児休業職員3名を含む。

5. 予 算（平成22年度当初予算）

1) 歳入

（単位：千円）

科 目	環境施設 使用料	保健環境研究所 手数料	環 境 市 民 ファンド受入金	健 康 保険料	雇 用 保険料	厚生年金 保 険 料	その他 の雑入	合 計
金 額	52	1,500	17,914	1,371	187	2,313	3,697	27,034

2) 歳出

（千円未満切上）

区 分		環 境 局				保 健 福 祉 局				そ の 他 の 局	計
		環 境 総 務 費	環 境 対 策 費	ご み 処 理 費	施 設 費	保 健 衛 生 総 務 費	感 染 症 対 策 費	環 境 衛 生 費	食 品 衛 生 費		
報 酬			28,233								28,233
共 済 費			7,963	31			2				7,996
賃 金			1,511	1,510			108			167	3,296
報 償 費			302								302
旅 費			2,722	607	169	74	12	97			3,681
需 用 費	印刷消耗品費		30,615	7,586			20,847	3,283	21,871		84,202
	被 服 費		66	94							160
	光熱水費		41,648								41,648
	修繕料		10,300	1,000							11,300
役 務 費			3,395	373			370				4,138
委 託 料			62,266	76,496	5,335						144,097
自動車借上料			18								18
借 損 料		201	98,747	7,821							106,769
備品購入費			4,410	342							4,752
諸会議費負担金		50	631	131							812
合 計		251	292,827	95,991	5,504	74	21,339	3,380	21,871	167	441,404

※ごみ処理費及び施設費は廃棄物試験研究センター関連の経費

6. 福岡市保健環境研究委員会

市民の健康を守り生活環境を保全するため、保健環境研究所が実施する調査研究を専門的・客観的な立場から支援する目的で、学識経験者と行政の委員からなる研究委員会を設置している。

1) 所掌事務

- (1) 調査研究に関する提言 (2) 調査研究に関する指導・助言 (3) 調査研究に関する評価
- (4) その他調査研究に関し必要な事項

2) 委 員（定員20人）

- (1) 学識経験を有する者（11人） (2) 市職員（4人）

3) 平成21年度の開催状況

- (1) 開催日時 平成22年1月22日（金） 15:30～18:00 （場所：福岡市保健環境研究所）

(2) 議 題

① 平成21年度調査研究中間報告について（15件）

- ・有機フッ素化合物の環境実態と排出実態に関する調査（共同研究）
- ・博多湾における円石藻による白潮の発生機構に関する研究（B型共同研究）
- ・地球温暖化がもたらす日本沿岸域の水質変化とその適応策に関する研究（C型共同研究）
- ・光化学オキシダントの研究（共同研究）
- ・光化学オキシダントに関連する揮発性有機化合物の調査・解析
- ・Ethidium monoazide, propidium monoazide 処理を併用した環境水からのリアルタイムPCR法による病原細菌の検出
- ・Ethidium monoazide, propidium monoazide 処理を併用した食品増菌液からのリアルタイムPCR法による病原細菌の検出
- ・急性期ならびに慢性期HIV感染者、およびエイズ患者から分離されるHIVの遺伝子変異について
- ・ノロウイルスに関する研究 ―室内環境におけるノロウイルスの消長とその除染―
- ・RDV（Rapid Determination system of Viral RNA sequence）法によるウイルスの同定
- ・食品添加物の分析方法の検討及び使用実態の調査 ―シリコーン樹脂の残留実態調査―
- ・マーケットバスケット方式による食品添加物の一日摂取量実態調査
- ・遺伝子検査を用いた毒キノコ”ツキヨタケ”の鑑定方法の開発
- ・公定試験法の開発・検証および農薬の一日摂取量実態調査
- ・食品廃棄物の嫌気性発酵を利用したエネルギー化 ―水素発酵とメタン発酵―

② 平成22年度新規調査研究テーマについて（2件）

- ・水環境における医薬品類の実態調査
- ・PM2.5と光化学オキシダントの実態解明と発生源寄与に関する研究（共同研究）

7. 事業実績一覧

1) 平成21年度保健環境研究所検査等事業

担当課名	項目名	検体数	項目数
環境科学課	酸性雨調査	141	1,668
	悪臭検査	17	81
	有害大気汚染物質調査	56	452
	アスベスト調査	189	409
	その他の大気環境調査	314	1,218
	地下水、ダイオキシン類調査、環境ホルモン調査	208	5,216
	プール、受水槽水道、し尿浄化槽放流水検査等	258	1,437
	事業場排水、ゴルフ場調査等	48	998
	市民依頼検査	1,546	11,994
	油分鑑定（消防局）	3	3
	行政からの苦情等依頼検査（環境省委託調査を含む）	116	1,288
	計	2,896	24,764
保健科学課（微生物）	食品等行政収去検査	1,357	3,704
	食中毒・苦情検査	573	2,905
	環境衛生関係検査（プール・浴場水等）	593	871
	環境保全関係検査（博多湾、河川、事業場排水等）	30	30
	その他の依頼検査	46	48
	腸内病原菌検査（赤痢・チフス・0157等）	2,246	6,738
	感染症法に基づく防疫検便	1,087	1,111
	結核菌検査	13	26
	梅毒検査	621	1,242
	井戸水等細菌検査	1,747	3,124
	原虫・寄生虫等検査	51	51
	血清検査（HIV、C t、風疹、B型肝炎、C型肝炎）	3,904	5,665
	食中毒・集団感染のウィルス検査	140	140
	感染症発生動向調査事業ウィルス検査	206	1,030
	インフルエンザ発熱外来	189	189
	インフルエンザ入院及び重症サーベイランス	1,233	1,233
	小計	14,036	28,107
	精度管理に係る検査	2,254	3,017
	計	16,290	31,124
保健科学課（理化学）	食品等行政収去検査	1,074	30,704
	家庭用品試買検査	92	92
	行政(保健所)からの依頼検査（苦情）	80	382
	行政(保健所以外)からの依頼検査	41	2,856
	一般からの依頼検査	0	0
	委託事業（血中P C B）	40	40
	小計	1,327	34,074
	精度管理に係る検査	1,122	3,747
廃棄物試験研究センター	計	2,449	37,821
	清掃工場(資源化センターを含む)	1,692	15,846
	埋立場	524	7,933
	資源化調査	20	40
	その他	425	2,220
計		2,661	26,039
総計		24,296	119,748

2) 平成21年度保健環境研究所調査・研究等事業

区分		件数(回数)	人数
調査・研究	誌上発表	2	—
	学会誌等 所報	18	—
	小計	20	0
	口頭発表	14	—
	学会・協議会等	14	0
	小計	14	0
計		34	0
情報・啓発	夏休み体験学習	3	36
	ホームページ発行	4	—
	出前講座	36	1,268
	計	43	1,304
研修	研修生受入	3	4
	講師派遣	10	17
	研修派遣	21	22
	国際技術協力講師派遣	—	—
	共同研究	8	—
計		42	43
総計		119	1,347

